



中央農業高校 校長室だより 8月号

－命はぐくむ学びの風景－

神奈川県立中央農業高等学校 校長 岩崎秀太

～夏休みも続く、生徒たちの挑戦と活躍～

夏休みに入り、普段の授業はお休みとなっていますが、中央農業高校では、生徒たちがさまざまな活動に取り組んでいます。学校説明会で中学生に本校の魅力を伝える生徒、資格取得に向けて技術を磨き試験に挑戦する生徒、そして農業クラブの競技会を支える生徒など、それぞれの場所で頑張る姿が見られました。

今回は、8月に入ってから行われた3つの取組を紹介します。

公私合同説明会 ～多くの中学生・保護者の皆様に「中農」を紹介～

8月3日（月）、神奈川工科大学を会場に、県央西地区の県立高校・私立高校が参加する「公私合同説明会」が開催されました。当日は各高校に教室が割り当てられ、それぞれの学校が特色や教育内容、学校生活、進路などについて、中学生や保護者の皆様に説明を行いました。

会場全体には、保護者・生徒合わせて2,000組を超える皆様が来場し、大変なにぎわいとなりました。本校の説明会にも200組を超える中学生・保護者の皆様にお越しいただきました。



本校からは教職員だけでなく生徒も参加し、中央農業高校の学科や学習内容、学校生活などについて説明しました。参加された皆様は、生徒や教職員の話に熱心に耳を傾けてくださいました。



学校の魅力は、パンフレットやホームページだけでは十分に伝えられません。実際に学校生活を送っている生徒自身の言葉には、学校の雰囲気や学びの楽しさを伝える力があります。中学生の皆さんに一生懸命説明する本校生徒の姿を見ながら、「生徒の姿そのものが中央農業高校の魅力を伝えてくれている」と感じました。

多くの皆様に本校へ関心を寄せていただいたことを、大変うれしく思います。

造園技能士検定3級 ～日頃磨いた技術を2時間の実技試験で発揮～

8月2日（日）、JA横浜北総合センターを会場に、「造園技能士検定3級」の実技試験が行われ、本校から7名の生徒が受験しました。

当日は朝6時30分に集合。早朝からの試験となりましたが、生徒たちはこれまで練習してきた成果を発揮するため、真剣な表情で試験に臨みました。

実技試験では、限られた時間の中で、決められた条件に従って作庭する技術が求められます。試験時間は2時間。正確さはもちろん、作業の段取りや安全性、そして時間を意識しながら作業を進める力も必要となります。

緊張感のある中での試験でしたが、受験した5名全員が規定時間内に作庭を終えることができました。



これまで授業や実習、放課後などを使いながら練習を積み重ねてきた成果だと思います。

今回の実技試験の結果に加え、学科試験・要素試験の結果を合わせて最終的な合否が判定されます。結果を待つこととなりますが、まずは5名全員が2時間の実技試験を最後までやり遂げたことをたたえたいと思います。

農業高校では、学んだ知識や技術を資格という形に結び付けることも大切な学びの一つです。今回の経験を、これからのさらなる技術向上につなげてほしいと思います。



平板測量競技会を本校で開催 ～「出場」ではなく「運営」で支えました～

8月6日（木）、本校を会場として、神奈川県学校農業クラブ連盟主催の「平板測量競技会」が開催されました。平板測量競技は、農業土木などの学習で身に付けた測量技術を競う農業クラブの競技の一つです。チームで協力しながら、測量機器を正確に扱い、限られた時間の中で測量や計算を行うため、技術だけでなく、チームワークや判断力も求められます。

今回、本校生徒は競技には出場しませんでした。しかし、開催校として競技会の運営を支える大切な役割を担いました。競技会というと、どうしても出場している選手に注目が集まります。しかし、大会は選手だけで成り立っているわけではありません。会場準備や受付、競技の進行補助など、多くの人たちの支えがあって初めて大会を開催することができます。

本校生徒たちは、「競技する側」ではなく「支える側」として、それぞれの役割に責任を持って取り組んでくれました。誰かが活躍する舞台をつくり、支えることも大切な学びです。暑い中、競技会の円滑な運営のために頑張ってくれた生徒の皆さん、お疲れさまでした。



この写真は過去の大会の様子

夏休みだからこそできる学びを

夏休みというと、学校から少し離れて過ごす期間というイメージがあります。しかし、中央農業高校では夏休み中も、生徒たちがさまざまな場所で活動しています。

学校の魅力を自分たちの言葉で伝えること。身に付けた専門技術を資格取得という目標につなげること。そして、仲間の活動を支え、大会を運営すること。

教室での授業とは違いますが、どれも高校生活の中でしか経験できない大切な「学び」です。

暑い日が続いています。生徒の皆さんには体調管理を第一にしながら、この夏だからこそできるさまざまなことに挑戦し、一回り成長して2学期を迎えてほしいと思います。